

教 委＝加藤千博 教育長 河村朋大 学校教育課長 新美勲 主任指導主事
知教労＝草 敏弘 岩澤弘之 岡崎良久

1 改正「給特法」に伴う勤務時間の上限に関する指針の遵守について

①多忙化解消検討委員会の内容について

（組 合）

市の多忙化解消検討委員会の取り組み内容と今後の重点課題は何か。

（教 委）

今年度はまだ開けていない。明日、会議を開く予定。主な内容は

○各校の「取り組み内容のまとめ」をもとにした意見交換。

○部活動ガイドラインの修正。

○客観的在校時間の把握。タイムカードに当たるものを来年度から実施を検討。

○小学校・中学校部活動の大会の持ち方の意見交換

○土日の市の行事を平日に実施することを検討。

○来年4月からタブレット配布に伴い、家庭でも使用できる方向を試験的に実施予定（宿題点検等教員の業務の軽減化を図る）等

明日の検討委員会に提案し、次回1月の検討委員会で話し合い、方向を決めていく。

小学校の部活もなくしてはどうか。

（教 委）

名古屋型の取り組みを紹介し、まず意見を聴くことにしている。

③労働安全衛生法の遵守について

（組 合）

東海市には、50人以上の学校はいくつあるのか

（教 委）

市の職員課の登録では、50人以上の職場はない。

（組 合）

1週間に1度でも定期的に学校に来る人（用務員・ALT等）はみな含むので、中学校や児童数800人を超える小学校は該当するのではないかと。

（教 委）

用務員・ALT等も含めると50人を超える職場が出てくるだろう。

（組 合）

働きやすい職場にしていくために、各校で検討委員会を開き改善していったらいい。

④在校時間管理について

（組 合）

超過勤務時間を「月45時間、年間360時間」にするためにはまず、正確な在校時間の記録をとる必要がある。（在校時間から休憩をとった8時間半を引いている学校が多い。）

（教 委）

来年度からパソコンアプリで管理する方向で検討中。

（組 合）

正確を期すために、開始・終了時刻や休憩時間等の設定を現状に合ったものにしてほしい。

（教 委）

検討していく。

⑤少人数学級の推進について

（組 合）

市独自の少人数学級推進の予定・計画があるか。名古屋市議会は意見書を提出している。犬山市は、全学年34人以下の少人数学級編成実施している。

（教 委）

議会の意見採択も含めて、毎年要望はしているが制度的にも施設面でも独自の実施は難しい。支援員の配置などで対応したい。

⑥学校訪問について

（組 合）

コロナ禍により、今年度学校訪問がなくても学校運

②部活動について

（組 合）

中学校では、部活の指導がかなり先生方の負担になってきているが、朝部活を廃止してはどうか。

（教 委）

中学校の朝部活（朝練）は、基本的にやらない方向で検討中。夏場の下校時刻を30分早めたい。

（組 合）

下校を5時半にしたとしても、夏場は1日1時間半超過する。校務分掌や学級事務が部活後になるので、部活がある以上、超過勤務時間を「月45時間、年間360時間」にするのは不可能だと思っている。

部活動の「学校教育からの切り離しプラン」を早く作成していくことが大事。

（教 委）

文科省から令和5年に部活動の地域移行が示されているので、スポーツ課と文化芸術課も含めて協議を始めたい。

半田のスポーツクラブをスポーツ課が、名古屋市の小学校が始めた民間委託型の取り組みをスポーツ課と一緒に見に行くことにしている。みんなで考えていかないといけないという考えは共有している。スポーツクラブ東海との連携も視野に入れながら、変えていく良い機会にしていきたい。

（組 合）

営に問題がなかった。学校訪問には何が必要なのか、今までのような従来型の学校訪問の在り方でよいのかを見直すいい機会になったのではないかと。

以前から提案しているように、指導案の簡略化(A4 1枚)や日程そのものを減らす(半日にする)。公開授業のコメントも必要がないのでは。

(教 委)

東海市に限れば30代の教員が多いことから、1年に1回指導案をきちんと書く機会をもつことは必要。

(組 合)

校内研修の充実が大事で、早すぎる指導案の作成や形式の細かいチェック、環境整備に時間をかける必要がないのでは。

(教 委)

学校訪問を学校として大いに活用してもらえればよい。

⑦夏休みの日直について

(組 合)

本来管理職業務の日直を職員が分担してやっているのに、夏休みの日直は管理職もやるのが望ましい。多忙化解消につながる。

(教 委)

今年度、閉庁日を1日増やしたが、閉庁日に夏季休暇を取ることが多い。閉庁日が長いと、必要な時に夏季休暇が取れないこともあるのでは。

(組 合)

休みが必要な時は、勤務の割り振り分やなかなか消化できない年休をとることで対応できる。

⑧応募作品について

(組 合)

今年、コロナの関係で、文科大臣が各団体に手紙を出し、学校を通さない作品応募が増えたおかげで、国語や美術の教師、応募担当の教師がすいぶん楽になった。来年以降も続けてほしい。

(教 委)

教育委員会として切ったところが多い。まだ一部学校を通して募集という団体もあった。

⑨必要のない出張について

(組 合)

教職員会や他の団体の発行物(副読本など)作成に、授業で忙しいこの時期に補欠までつけて教員を出張させないでほしい。権限は校長にある。学校の業務優先でお願いしたい。

(教 委)

どれも必要な物なので、保護者の負担軽減もあり公費負担で発行している。やめるというのは難しい。

(組 合)

必要かどうか、使いやすいかどうか議論していく必要があるのでは。

(教 委)

市販で良いものもあると思うが、「数学のリープ」で言えば、今まで使いやすく良いものにしてつくり上げてきた経緯がある。

(組 合)

個々について検討していく時期。

2 その他の項目

(組 合)

特別教室(音楽室や美術室)体育館のエアコン設置の予定はあるか。

(教 委)

特別教室については要望しているがすぐには難しい。体育館については避難所になっていることもあるが、エアコンの設置が難しいので検討中。来年度どここの学校に設置とは決まっていない。

(組 合)

音楽室は、防音上窓を閉めることも必要になる。エアコン設置の必要性は高い。

(教 委)

すぐには無理なので、スポットクーラーを緊急で各校3台ずつ購入した。財政上の問題もあるが何とか早く実現したい。

(組 合)

学校が古いところは、洋式トイレが少なく汚い。洋式トイレの数を増やしてほしい。コロナ感染の事もあるので、トイレの手洗い場の水道は自動水栓にできないか。

(教 委)

トイレの手洗い場の水道は、予算が付いたので自動水栓に変える。工事がもうすぐ始まる予定。

(組 合)

修学旅行における、特別支援学級児童保護者の負担が大きいため、人員の補充が必要ではないか。できれば普段からサポートしている支援員と一緒に行けると良いのでは。

(教 委)

宿泊を伴うので、サポートの方が宿泊可能かどうか、ボランティアを頼むにしても児童にうまく対応できるか等問題も多い。

(組 合)

5年の林間学校の場所を近場にして、一泊2日にするいい機会ではないか。検討してほしい。

(教 委)

現段階では考えていないが、場所を変えらると、学校数も多いので、よい時期に貸し切れる場所を探すことから始めなくてはいけない。

(組 合)

学校施設の老朽化対策はどうか

(教 委)

合併時にできた施設が多いので、どここの施設も建て替えの時期。まだ決まっていなが、小学校で言えば平洲小が該当する。お金がかかるので施設の「長寿命化計画」の中で検討していく。